

2019 年度 個人研究実績・成果報告書

2020 年 4 月 30 日

所属・職名	政策情報学部 准教授	氏 名	杉本 卓也
研 究 課 題	組織の継続性とモチベーションの維持管理に関する実践的研究 ー学長プロジェクト 4 に係る学生活動・組織を対象にー		
研究 キーワード	学長プロジェクト、組織管理	当年度計画に 対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年 3 月に立ち上げた学生団体 SONE (Student Organization for Natural Energy) について、2 年目の活動を終えた。当初メンバーの多数の離脱が 2019 年 3 月～4 月の年度当初に起こり、組織継続の危機に瀕したが、残ったメンバーの積極的な新メンバー勧誘活動もあり、組織として継続している ・ 活動では、昨年度と同じく打ち水を実施したものの、天候に恵まれず参加人数は減少した。昨年度企画していた太陽光による電気（蓄電）を利用したイルミネーション企画は、実現にこぎつめた。また、学長プロジェクト 4 との共同事業として、教室の断熱化に向けた室温調査及び、その教室使用者の温感調査を実施した（4 号館 411 教室、421 教室）。その過程で学生側との打ち合わせや、学内関係部署との連絡調整に際して立ち会いながらサポートと学生活動の参与観察を進めていった。 ・ 上記については、2019 年 9 月の環境科学会の年次大会において企画シンポジウムを実施し、その中で本学の自然エネルギー100%大学の取組みと併せて、学生団体の SONE の活動紹介を行った。その際には、昨年度末（2019 年 3 月）の SONE 合宿において実施した、学生を対象とした 1 年間の活動振り返りのアンケート調査の分析結果報告も行った。。 <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>杉本卓也</u> (2019) 「活動に対する意欲と自己評価ー学生団体 SONE を対象としたアンケート調査ー」：環境科学会 2019 年会企画シンポジウム「創エネ省エネ活動の実施・継続・展開ー自然エネルギー100%大学におけるハートウェアづくりー」, 環境科学会 2019 年会講演要旨集, pp.174-176, 名古屋大学東山キャンパス ・ <u>Takuya Sugimoto & Junji Ebato</u> (2019) “Heart-ware for RE100 University and Sustainable Actions” , 39th Annual Conference of the International Association for Impact Assessment, Brisbane, Australia <p>3. 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記研究の遂行、および研究成果発表にかかる費用として、個人研究費を使用した。 <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特になし <p style="text-align: right;">(本文は 1 ページ以内にまとめること)</p>			